

令和4年度『社協団体会員アンケート』報告書

目 的

本調査は、自治会活動推進事業の一環として、社協団体会員（自治会）同士の課題や情報共有を図り、自治会活動の推進を目的に実施しました。

実施期間 令和4年7月～8月

対 象 社協団体会員 157 自治会

方 法 団体会員 157 自治会へ郵送でアンケートを依頼、返信用封筒にて回収した。

回答状況 121 自治会 / 157 自治会 (77.1%)

————アンケート調査結果のまとめ————

問1. どちらの地区にお住まいですか。

- ①我孫子地区 64 件 ②天王台地区 27 件 ③湖北・新木地区 16 件 ④湖北台地区 7 件
⑤布佐地区 6 件 ⑥無回答 1 件

問2. 自治会内に自主防災組織はありますか。

- ①ある 61% ②ない 36% ③立上げを検討している 3% ④必要ない 0%

※②～④と回答された方は、問6へ

問3. 自主防災組織は何人で構成されていますか。

- ①0人 2% ②1～5人 20% ③6～10人 16% ④11～15人 10% ⑤無回答 52%

※①と回答した自治会 2 件

- ・設置して実態ない
- ・役員兼務のため

問4. 自主防災活動はどのようなことを行っていますか。（複数回答可）

- ①防災知識の普及（広報紙等の発行等） 20 件 ②防災訓練の実施 43 件
③研修・勉強会 17 件 ④会議・打合せ等 34 件 ⑤特になし 12 件
⑥その他 3 件

問5. 自治会員以外（未加入、アパート住民）への備蓄品の配布はどのようにお考えですか。

- ①配布しない 27% ②配布する 4% ③考えてない 27% ④今後検討 28%
⑤その他 13% ⑥無回答 1%

問6. 資源ごみの用具の管理はどうしていますか。

- ①ステーション毎に輪番制 42% ②市に委託 46% ③自治会独自で業者へ委託（シルバー人材センター等）6% ④その他 6%

問7. 我孫子市や社会福祉協議会が行うアンケートについて、どのように回答されますか。

- ①自治会長の考えで回答 69件 ②役員会で話し合っただけで回答している 31件
③わからない 4件 ④その他 16件 ⑤無回答 1件

問8. ごみのカラス対策成功事例をお聞かせください。（自由記述）

主なご意見

- ・「クリーンセンター」や「まちづくり協議会」が推奨するワイヤーネット（100均の材料で作成）の柵は効果がある（25件）
- ・ネット（クリーンセンターで配布）を活用（例：二重にして使用、防鳥用ネットを活用、ネットに棒を通して重しにする等）

問9. 自治会費の集金方法を教えてください。

- ①訪問による集金 70% ②イベント等に合わせて集金 9% ③会費徴収なし 5%
④その他 15% ⑤無記入 3%

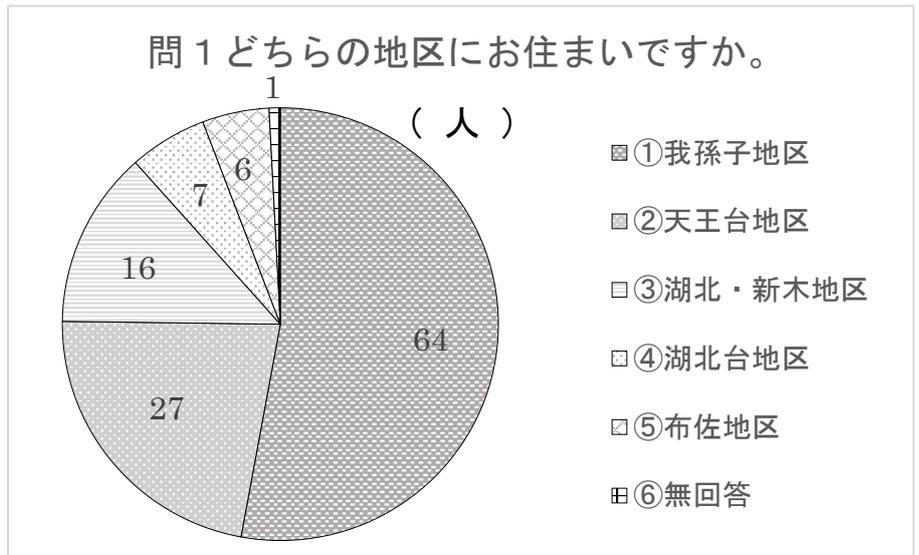
《今回の設問の趣旨》

令和4年4月に行った社協団体会員（自治会）へのアンケート調査「他の自治会に聞いてみたいこと」で、特にご意見があった防災について問1～5まで設定し、問6と問8にはごみ出しやカラス対策についての設問を問7は市や社協からのアンケートの回答方法について、問9～10は自治会費の集金方法について設問を設けました。

問1. どちらの地区にお住まいですか。

問1	総数
①我孫子地区	64
②天王台地区	27
③湖北・新木地区	16
④湖北台地区	7
⑤布佐地区	6

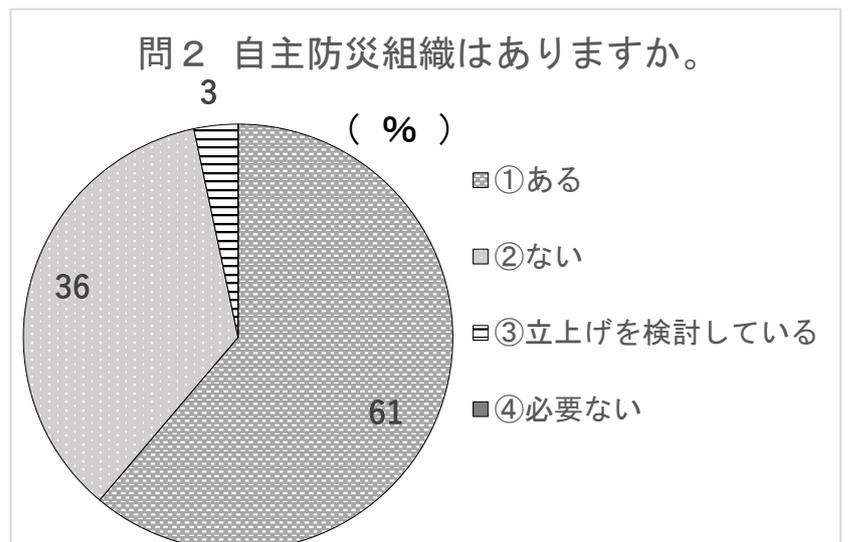
回答数：120 自治会



問2. 自治会内に自主防災組織はありますか。

問2	総数
①ある	74
②ない	43
③立上げを検討している	4
④必要ない	0

回答数：121 自治会

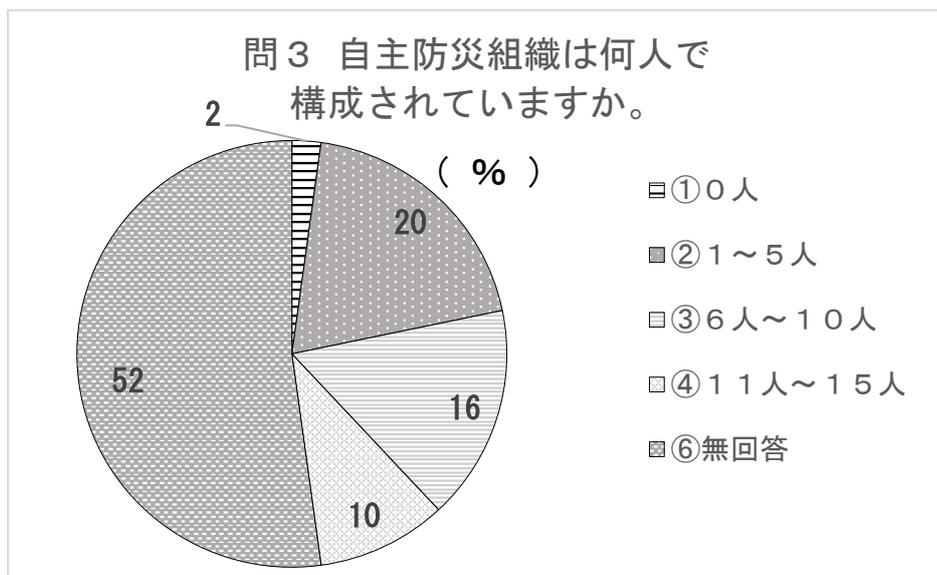


《考察ほか》

- ◎我孫子地区・天王台地区は自主防災組織が「ある」「ない」が同じぐらいの割合だった。
- ◎湖北・新木地区、湖北台地区、布佐地区は設置状況が低かった。
しかし、代々に渡る付き合いで「共助」ができていとも考えられる。
- ◎湖北・新木地区、湖北台地区、布佐地区では、設置状況も低いが今後も設置を考えていないことが分かった。

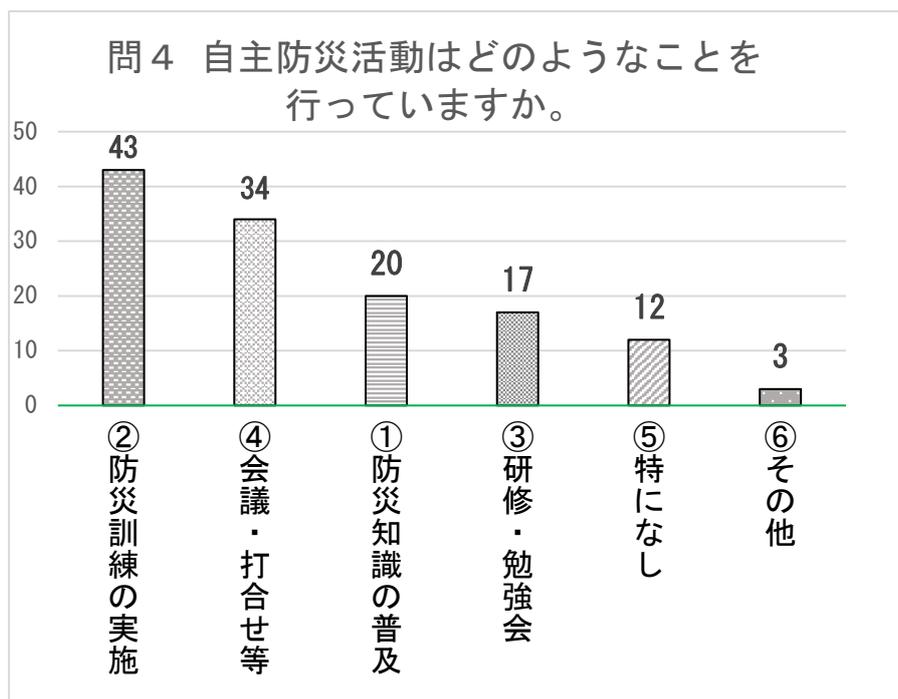
問3. 自主防災組織は何人で構成されていますか。

問3	総数
①0人	2
②1～5人	18
③6人～10人	15
④11人～15人	9
⑥無回答	48
総数	92

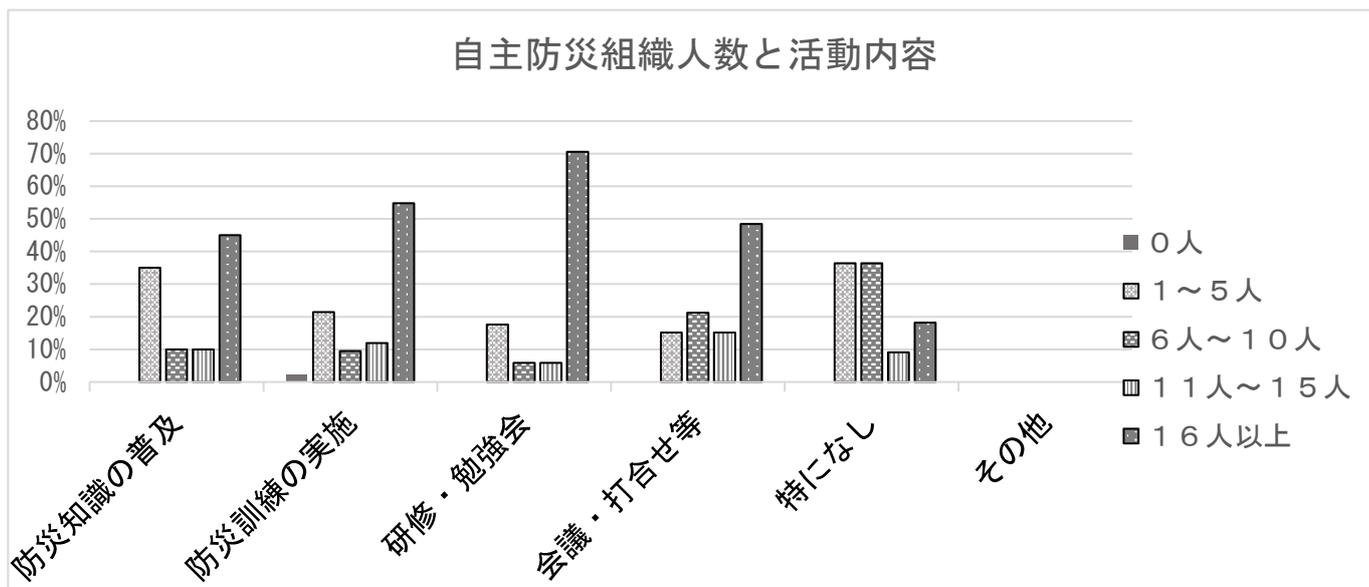


問4. 自主防災活動はどのようなことを行っていますか。(複数回答可)

問4	総数
①防災知識の普及	20
②防災訓練の実施	43
③研修・勉強会	17
④会議・打合せ等	34
⑤特になし	12
⑥その他	3
総数	129



問3とのクロス



※その他意見

- ・ 近隣自治会との合同訓練
- ・ 活動を検討中
- ・ 備品や倉庫の点検（3件）
- ・ 連絡網の通信訓練
- ・ 今年度立上げ予定で備品の調達を考えている
- ・ コロナ禍でここ数年未実施、今年度実施予定

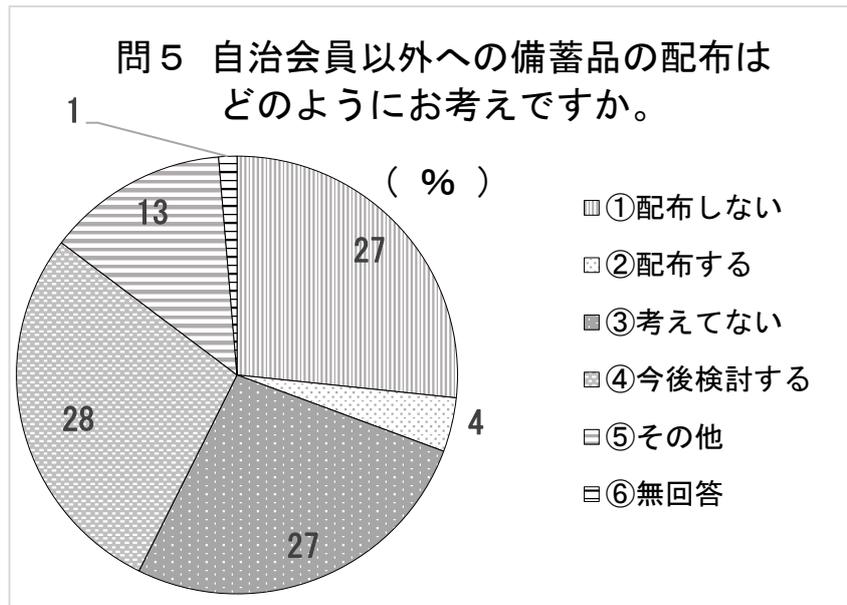
	選択肢	防災知識の普及	防災訓練の実施	研修勉強会	会議打合せ等	特になし	その他
①	0人	0%	2%	0%	0%	0%	0%
②	1~5人	35%	21%	18%	15%	36%	0%
③	6人~10人	10%	10%	6%	21%	36%	0%
④	11人~15人	10%	12%	6%	15%	9%	0%
⑤	16人以上	45%	55%	71%	48%	18%	0%
		100%	100%	100%	100%	100%	0%

《考察ほか》

- 構成員の人数と活動の内容に大きな差はなかった。
- 防災訓練は約半数の自治会で行っていた。
- 構成員が16人以上の自治会では研修会や勉強会が積極的に行われていた。
- 構成員が少ないところほど「特になし」の回答が4割弱あった。

問5. 自治会員以外（未加入、アパート住民）への備蓄品の配布はどのようにお考えですか。

問5	総数
①配布しない	20
②配布する	3
③考えてない	20
④今後検討する	21
⑤その他	10
⑥無回答	1
総計	75



※その他意見…

・ 備蓄は各世帯に任せている。保管や管理が大変。

国も家庭備蓄を呼び掛けている。「ローリングストック」を上手く活用するよう、自治会でも呼びかけを！

・ 災害時は配布したい。こういう時こそ助け合い精神が必要。会の理解も深まるのでは。

《考察ほか》

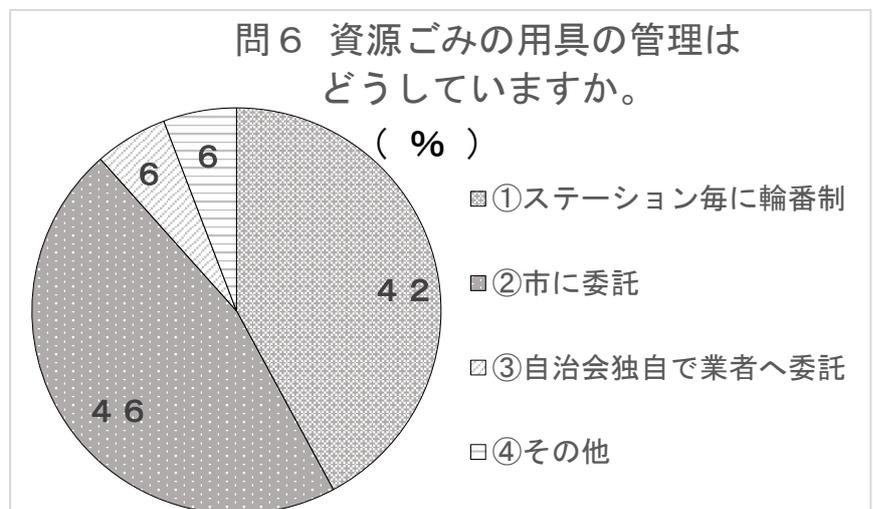
○自治会員以外へは「配布しない」「考えていない」が同じ割合になった。

○近年、国なども家庭備蓄（ローリングストック）を呼び掛けていることから、各家庭での備蓄も進み、自治会では備蓄を行わないという選択肢も出てきたと思われる。

○困ったときこそ助け合いをしたい！という意見もあった。

問6. 資源ごみの用具の管理はどうしていますか。

問6	総数
①ステーション毎に輪番制	51
②市に委託	56
③自治会独自で業者へ委託	7
④その他	7
総数	121

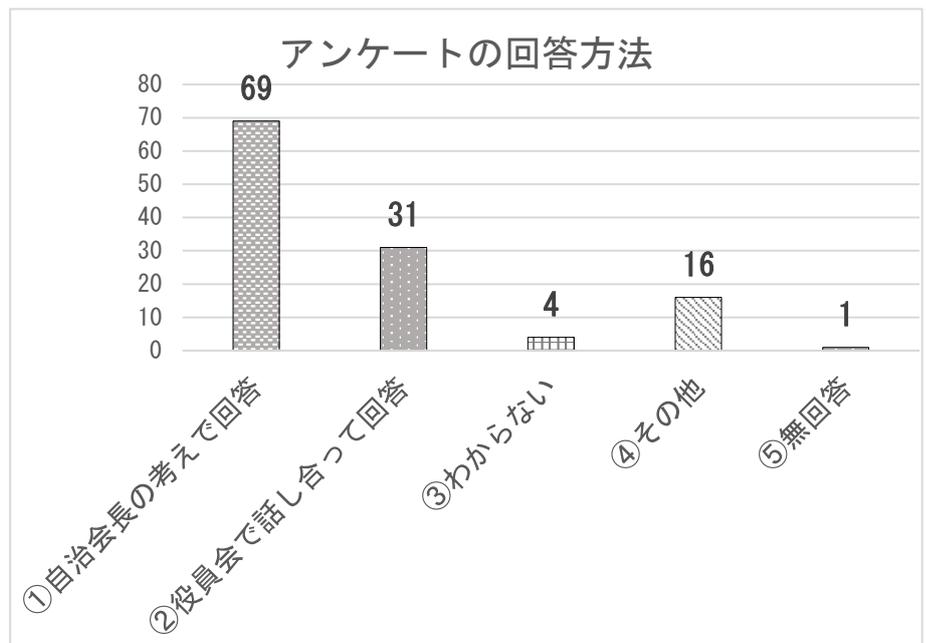


※その他意見

- ・シルバー人材センターに委託したいが片付けをしてくれないので現状当番制
- ・管理会社に委託（集合住宅）
- ・市や業者委託を検討中
- ・ステーション毎に個別対応
- ・今後、市に委託（2件）

問7. 我孫子市や社会福祉協議会が行うアンケートについて、どのように回答されていますか。

問7	総数
①自治会長の考えで回答	69
②役員会で話し合って回答	31
③わからない	4
④その他	16
⑤無回答	1
総数	121



問8. ごみのカラス対策成功事例をお聞かせください。（自由記述）

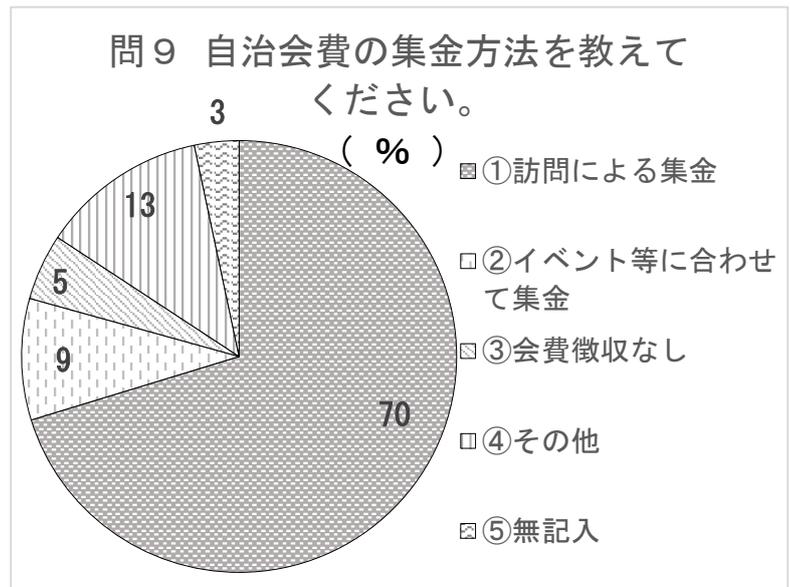
- ・クリーンセンターやまちづくり協議会が推奨しているカラスよけサークルを活用し効果あり。（26件）100均材料（ネット300円×8枚、結束バンド）3,000円以下で作成。耐久性、効果あり。おすすめ。
- ・ネット（クリーンセンター配布）に重しをする（7件）
- ・カラスよけ専用グッズを活用（3件）
- ・ダストボックス'長さ1800（1500）、奥行700、高さ1200、設置できないところ、ネットとペットボトル（重し）で対応。
- ・ゴミの出し方、ネットのかけ方、回覧で周知。

《考察ほか》

- 100均のワイヤーネットで作るサークル等を活用し、効果があったと回答した自治会が回答者の約半数だった。効果もあると回答。
- カラス避けのネットと重しの回答が次に多かった。

問9. 自治会費の集金方法について教えてください。

問9	総数
①訪問による集金	85
②イベント等に合わせて集金	11
③会費徴収なし	6
④その他	15
⑤無記入	4
総数	121



その他意見

- ・ 総会や会合で集金（6件）
- ・ 口座振替（5件）手間が省けた等
- ・ コロナ禍でここ数年集金なし（4件）
- ・ 管理会社が集金又は管理費と一緒に集金（2件）

《考察ほか》

- 8割以上の自治会が訪問による集金を行っていた。
- コロナ禍のため集金していないと回答した自治会が6件あった。
- 口座振替を取り入れたり、管理費（集合住宅）と一緒に引落としと回答した自治会が7件あった。

問10. 自治会費の集金方法で良い方法や工夫があったら教えてください。

- ・ 班長が集金している。（8件）
- ・ 事前に回覧やショートメール等を使って連絡をしてから集金する。（2件）
- ・ 集金によって班内の実態把握と人間関係の醸成することができ、自治会員の連帯感を持つことができている。
- ・ 住民とのコミュニケーションを取るために訪問による集金にしている。
- ・ 対面式の集金方法必要性を感じる。直接伺って聞きたいこともある。貴重な機会になっている。
- ・ 訪問による集金は住民とのコミュニケーションを取るために、あえて実施している。
- ・ 4回に分けて会費を徴収。出来れば月1で集金したい。（コミュニケーションをとるため）
- ・ 電子決済システムが良いと役員会では出ている。電子決済システムを使えない方もいるため集金方法を1つにすることが出来ない。

《考察ほか》

- 住民とのコミュニケーションを取るために、あえて対面式の集金を行っているという回答された自治会が多かった。
- 事前に連絡し、集金に行くという回答した自治会があった。(手間が省ける)
- 電子決済システムの導入を考えている自治会もあった。(使えない方の対応で断念)
- 問9で口座振替を導入されている自治会が6件あった。
- 総会や会合時に集金しているところもあった。(役員の負担軽減のため)